

中弛んでいませんか？ その「勢い」で大丈夫ですか？

2年生になって約一ヶ月経った。気が付くと連休も明け、中間考査も終わってしまった。2年生になり、何をしているか判らないうちにバタバタと5月に入り、今後も高校総体をはじめ、あれがありこれがあり...ときっと気が付いた頃には夏になってしまう。第2学年という時期は、よく「中弛み」の時期と言われる。「実際の中弛みの時期は1年生の秋頃から始まっている」と言われることも多い。どこか気を張っていないと、それこそ夏どころかいつの間にか寒くなって、弛んだままで、何をしたという実感も無く、再び桜の季節を迎えてしまいそうである。先日までの自分の宅習時間調査の欄を見て、何を考えるだろうか？自分の理想とする将来像があれば、どうやら何かを考えないといけない様である。

さて、1年最後の学年集会で、私が少しふれた話を憶えているだろうか？私の前々任教（延岡東高校：現在は延岡青雲高校）ではラグビーが強く、あの頃のチームは毎年の様に花園に行っていた。生徒・職員で応援団を組んで何度も花園に行かせて貰った。（応援に値するメンバーだったからこそ、わざわざ応援にも行ったのだが。）10年ほど前の花園で、今でも鮮明に印象に残っているチームがある。結局優勝してしまった「名古屋市立西陵商業高校」である。「優勝してしまった」と書いたのは、優勝する様なチームではなかったからである。花園では常連校ではあるらしいのだが、その大会での平均重量は参加チームの中で21番目。地元名古屋では「軽量商業」とさえ言われているチームだった。それまでも、せいぜいベスト8が最高の成績だったと聞く。素人目に見ても細く、マッチョなチームが勢揃いする中で、決して体格が良いとは言えない感じだった。私の第一印象は「わぁ、ちっちょー」だった。当時のキャプテン（この人がまた小さく細かった）が準々決勝以前インタビューで「僕達は愛知県では強いと言われていますが、全国のレベルでどこまで通用するのか判りません。自分達の力を信じて精一杯頑張っ、1つでも多く勝ちたいと思います。」と語っていた。ところが、この高校の「勢い」は1回戦から凄いものがあり、全国制覇を何度も経験している全国トップに君臨している強豪チームを次々に（まさに）撃破していく勢いは止まるところを知らず、投げても、走っても、蹴っても何をしても殆ど全てが点に結びつくといった状況で、相手は戦意喪失。「手が付けられない」とはこんなことを言うのだろうかと思ったものでした。そして、大阪代表の啓光学園の勝利を誰もが確信していただろう決勝は、最後のロスタイムで26対25と逆転し、ほどなくホイッスルが響くという奇跡的な、まるでドラマの様な試合で終わった。その差が僅か1点というのも劇的だった。この様な試合を、強い選手を集めている私立ではなく、公立の学校が成し遂げたというのも意味がある様な気がする。高校に入ってラグビーを始めた選手も多いと聞いた。ここで考えたいのは、何につけても、「本番だけ強い」というのは有り得ないということです。本番が強いということは、平素もそれなりに強いのです。種目こそ違いますが、アテネの柔道で、横沢由貴選手（銀）の準決勝残り1秒での逆転も記憶に新しいところでしょう。そして、本番で生きる「勢い」は平素の積み重ねからしか生まれることはない私は考えています。誰にも止められない勢いの基礎を作るには、今から始めなければどうも間に合いそうにありません。そろそろ、校内だけでなく、本気で全国に目を向ける時期に来ているのではないのでしょうか。部活も勉強も勢いを培える2年生にしてみませんか？

（22HR 担任：M.T）

週行事予定表（5 / 17 ~ 5 / 30）

月	日	曜	行 事 予 定	備 考
5	17	土		高校総体まで残りわずか。全力で頑張れ。
	18	日		
	19	月		7:25着席完了
	20	火		7:25着席完了
	21	水		7:25着席完了
	22	木	眼科・歯科検診（13:25~）	7:25着席完了
	23	金	1~6限45分短縮授業、生徒会立会演説会・選挙	7:25着席完了
	24	土	ナーストゥデイ（県立看護大）	野球試合
	25	日	宮崎東高スクーリング	ラグビー試合
	26	月	一部活動活性化週間（朝課外なし、45分授業）	8:20着席完了
	27	火		8:20着席完了
	28	水	内科検診（4,5組 13:25~）	8:20着席完了
	29	木		8:20着席完了
	30	金	生徒会役員任命式高校総体壮行式 インド高校生来校	8:20着席完了